

表題

サステナブルかつレジリエント社会の構築を目指して

特色ある取組み

香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構では、「危機管理先端教育研究センター」と「地域強靱化研究センター」の2つのセンターを擁し、前者は先端教育プログラム開発やそれを活用した高度な人材育成を、後者は最先端のレジリエンスサイエンス(減災科学)研究を実践するなど、様々な角度から地域における持続可能かつ強靱化に係るニーズに対応しております。人材育成の一例として、徳島大学とともに「四国防災・危機管理プログラム」を構築し、大学院生はもとより社会人の方を多く迎えた実践的かつ多様な教育プログラムを展開しております。

また、最先端研究の一例として、今後発生が想定される南海トラフ地震による被害は、個々の組織に止まらず広域的な災害が発生し、地域が機能不全に陥る恐れがあることから、広域的な災害発生を想定した地域継続計画(District Continuity Plan:DCP)の策定・運用が必要であり、香川県は南海トラフ地震が発生した場合に四国の防災拠点としての役割が期待されていることから、香川大学が事務局となり香川県内の国の出先機関や行政機関、事業者等で構成する「香川地域継続検討協議会」を発足し、レジリエント社会の構築を目指しております。

四国防災・危機管理プログラム

プログラム概要

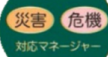
本事業は、東日本大震災を踏まえて、大規模広域災害やグローバル化する危機に対して適切に対応できる**専門家の養成**を目標としています。南海トラフ巨大地震の発生が想定される中、**香川大学と徳島大学**は、「防災士養成講座」や「建設業BCP策定支援」等の連携実績、成果を活用して、**香川県と徳島県**の協力の下に**四国防災共同教育センター**を設立し、四国の他大学と防災・教育関連情報を共有しながら、社会が必要とする**実践力を備えた防災・危機管理の専門家**を養成します。



遠隔講義により、連携大学間で講義を共有、多様な教育を実施

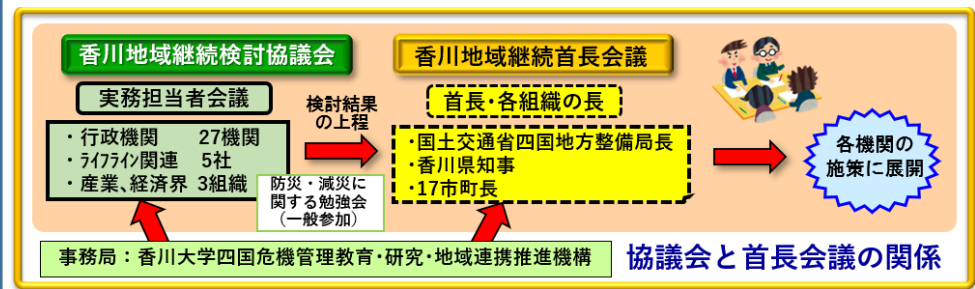
災害・危機対応マネージャー®

「**災害・危機対応マネージャー®**」とは、本プログラムを受講し、修了することで付与される民間資格です。災害や危機管理に関する知識の享受、助言、情報提供等を行うことが認められた者に授与されます。2021年4月時点では、社会人123名、大学院生73名、**合計196名**が資格を有しています。



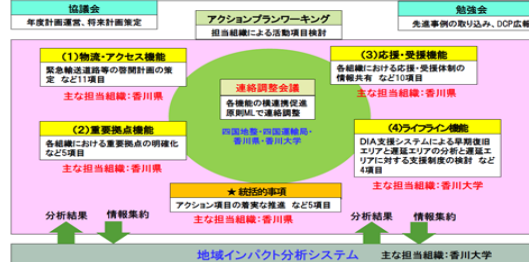
集中講義によるフィールド演習、実習の実施で実践力を担保

香川地域継続検討協議会



香川DCPアクションプランの取り組み方(体制図)

4つの重要機能のアクション項目に取り組む主な担当組織を配置。各機能は連絡調整会議にて随時連携しながら取り組む。



勉強会を開催しDCP作成

